



ブナセンターだより 12月号

発行：ブナセンター No.318 2019, 12, 1

今月のごあんない

わくわく土曜日ランド

「つるざんまい！」

ブナセンター周辺の林で、ヤマブドウやコクワなどの「つる」をとってきて、いろいろなものを作ります。何ができるかお楽しみ！

【日程】12月7日(土)

【時間】10:00~15:00

【集合】ブナセンター(9:55)

または町民センター(9:45)

【定員】10名(町内小学生対象)

【参加費】300円

【持ち物】昼食、水筒、野外で活動できる服装

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ



◎詳しくは学校配布のチラシにて

冬のクラフト講座

「^{しぶや よしお}渋谷吉尾爺直伝

開拓時代のしめかざり」

かんじき作りの名人だった渋谷吉尾爺から教わった手作りのしめ飾りです。スゲをない、輪にして、トドマツを飾ります。昔ながらの素朴なしめ飾りを一年の感謝を込めて作りましょう。

【日程】12月22日(日)

【時間】10:00~12:30

【場所】ブナセンター木工房

【定員】5名

【対象】小学5年生以上

【参加費】500円

【持ち物】汚れてもいい服装

(靴は脱いで足を使って作ります)

【申込み】前日17:00までにブナセンターへ



ブナセンター講座

「はじめてのグリーン・ウッドワーク 木のカトラリー作り」

乾燥前のやわらかい生木を扱うグリーン・ウッドワーク。講師の方にナイフワークから教わりながら、スプーンやバターナイフをじっくりと作り上げましょう。

【日程】12月14日(土)・15日(日)

【時間】両日10:00~15:30(途中1時間休憩)

【場所】ブナセンター木工房

【定員】スプーン…5名、バターナイフ…8名

【対象】スプーン…中学生以上

バターナイフ…小学校高学年以上

【参加費】300円

【持ち物】作業しやすい服装(スカートは不可)、昼食、飲み物、エプロン

※ほっとひといきティータイムあります！



←スプーンは2日かけてじっくりと



→バターナイフは1日でしあげます

【講師】草刈万里子さん(函館市・木育マイスター)

工房「種々(くさくさ)」で、スプーンや椅子作りなどのワークショップを行っている。現在は「旅するグリーン・ウッドワーク」と題し、道内を移動しながら各地でワークショップを開催し、グリーン・ウッドワークの味わい深さを広めている。

◎詳しくはチラシにて

工房からのお知らせ

陶芸教室

毎週木曜日

昼の部 13:30~15:30
夜の部 18:30~20:30

下澤陽子先生の教室は12月はお休みです

※下澤先生がいらっしゃらない日
および夜の部の教室は
ブナセンタースタッフが
指導しています。
初めて教室に参加される方は
前日までにブナセンターに
ご連絡ください。



木工教室

毎週木曜日 18:30~20:30

西馬昇一郎先生(ニセコ町WEST HORSE)の教室

さくらのおさら 18:30~20:30

※11月28日より「木工ろくろで作るお皿」第2弾が
スタートします。詳しくはチラシをご覧ください。

- ①11月28日&12月5日
- ②12月12日&12月19日
- ③12月26日&1月9日

2回の参加で完成
定員8名です

※このあと3月まで全部で8回の日程があります
※申し込み締め切り 11月27日(水)まで

どちらの教室も初心者の方大歓迎！

歌オブナ林 秋のかわらばん

一言総評
今年はや年中暖かく、
花々が早く長く
咲いた一方で、
黄葉は遅れがち

ブナの黄葉 少し遅い色付

例年だと十月二十五日前後に黄葉のピークをむかえるブナ。今年の十月後半は暖かい日が多く、いつもより少し遅めの十一月二日ごろが黄葉のピークとなりました。

今年はその暖かさが原因か、なかなか葉の色が緑から変化せず、十月二十四日に急に黄色に色づきました。その後じわじわと黄葉が進みましたが、今年のブナの木は木全体が一気に金茶色にならず、同じ時期に緑色、黄色、金茶色の葉っぱをつけている光景が特徴的でした。

白井川ブナ林から望む 北限のラインは

ブナは黄葉のあとしばらく散らなため、晩秋にブナ北限のラインを見る事の出来る白井川ブナ林。今年には白井川小学校の皆さんも散策に向かいました。
今秋は黄葉の時期がずれば、はっきりしたラインは見られませんが、

したが、「緑から金茶色のグラデー
ションがきれいだね」と子供たちは初
めて
訪れる白
井川ブナ
林の景色
に見入って
いました。



黄葉の白井川ブナ林

ブナの実 「不作」

毎年歌オブナ林で行っているブナの実作調査の結果、今年のブナの実は「不作」でした。春の時点で花がたぐさん咲き、実がなるかもと期待されましたが、シードトラップで集まった種子の数は〇・八個/m²という結果でした。豊作年だった一昨年の結果は二六三・六個/m²。ブナの豊作は一般的に五〜八年周期と言われています。
ブナの代わりにミズナラのどんぐりは豊作でした。去年が豊作年だったので、今年には不作かと思われましたが(どんぐりの豊作年は隔年で訪れる)、予想に反して町内あちこちでどんぐりが沢山落ちていているのがみられました。

どんぐりの豊作を受けて白井川中学校、黒松内小学校三年生のクラスでは「どんぐり食」に挑戦。生食、べると苦いどんぐりを何度も煮詰めてあくをととり、どんぐりチップスやだんご、クッキーを作りました。どんぐりが食べられると思わなかった「すごくおいしい」と大好評でした。



どんぐりだんご

花ごよみ

開花調査報告

毎年行っている歌オブナ林の花ごよみ調査の結果を報告します。
今年には初春に咲くキクザキイチゲやエンレイソウなどの開花が例年より少し早く、いずれも四月中旬には咲き始めていました。
また晩夏から秋にかけて咲くミヤマトウバナやヤブハギなどの花期が例年より長く、九月に入っても花が見られました。晩秋まで暖かい日が続いた事が影響しているのかもしれない。

また歌オブナ林ではレンプクソウの開花を(花ごよみの記録上では)初確認しました。てっぺんに必ず五つ花をつけるため、「五輪花」とも呼ばれる植物です。
エゾノギギシヤやフランスギクなどこれまで見られなかった外来種がいくつか確認され、周囲に広がらないよう目を配る必要があります。

10月5日～31日開催
「黒松内の鳥と動物たち」写真展

写真提供者 8名、写真総数 108点
来場者 607名

来場者の声

この様な沢山の鳥と美しい花々の中で生活している事に改めて幸せを感じました

よくこんなきれいな写真がとれたのだと驚いた見たことのない鳥が見られてよかった!

写真を提供して下さった皆さん、ご来場いただいた皆さん、
ありがとうございます
ございました!

【12月の休館日】

2・3日/9・10日/16・17日/23・24日
年末・年始の休館 12月28日～1月7日
(ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です)

- 「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。
- 「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の84円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440

メール bunacent@host.or.jp HP <http://www.host.or.jp/user/bunacent/> fb <https://facebook.com/bunacent.kuromatsunai/>